

伊勢半本店 紅ミュージアム

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

伊勢半本店 紅ミュージアム（いせはんほんてん べにミュージアム）は、東京都港区南青山にある株式会社伊勢半の企業博物館。「紅を見て、紅に触れ、紅を知る」をコンセプトに^[1]、紅の歴史と文化、江戸時代から続く紅作りの技を伝える施設である。



伊勢半本店 紅ミュージアム

概要

2003年、千代田区の江戸開府400年事業に協力して、東京都千代田区神保町に期間限定で「紅資料館」を開館^[2]。2005年、東京都港区南青山に「伊勢半本店紅資料館」として移設、2006年9月^[3]に「伊勢半本店 紅ミュージアム」と改称した^[2]。

紅の歴史的背景や諸相を紹介する資料室と、紅の色彩的な魅力を体験できるサロンとによる2つのゾーンから構成される^[2]。資料室では紅花の歴史、紅屋の製造風景・マーケティング、江戸の化粧文化等を紹介。関連資料として、江戸時代から明治・大正期に使用された化粧道具、紅作りの道具、絵画、文書を展示。サロンでは伝統製法で作られた口紅「小町紅」の体験ができる。

また、年に一度、企画展を開催。年に四回、紅の文化や江戸の風俗・ミュージアムの活動等を伝える情報誌、紅ミュージアム通信を発行。学校向けを含めた教育普及事業を行っている^{[1][4]}。

所在地

- 〒107-0062 東京都港区南青山6-6-20

交通アクセス

- 鉄道：東京地下鉄 銀座線・千代田線・半蔵門線 表参道駅より徒歩13分。
- 都営バス：都01 渋谷→新橋行、都01折返 渋谷→六本木ヒルズ行「南青山七丁目」下車徒歩1分。渋88 渋谷→新橋行「南青山七丁目」下車すぐ。

開館時間

- 10:00 - 17:00（入館は16：30まで）^[5]
- 休館日：毎週月曜日（月曜日が祝日または振替休日の場合は、翌日休館）、7月7日（創業記念日）年末年始^[5]

- 観覧料：常設展 無料

脚注

1. ^a ^b 「生活者の企業施設見学会 伊勢半本店 紅ミュージアム (https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11243213/www.kkc.or.jp/society/network/nwt_74.pdf)」『ネットワーク通信：社会広聴活動レポート』第74巻、経済広報センター、2018年3月、19-20頁。
2. ^a ^b ^c 「企業・団体のCSR活動 伊勢半本店 紅ミュージアム (<https://warp.ndl.go.jp/collections/content/info:ndljp/pid/11713360/www.kkc.or.jp/pub/period/keizaikoho/pdf/201901.pdf>)」『経済広報』第473巻、経済広報センター、2019年1月、26頁。
3. ^a 「2006年度リニューアル博物館情報 (<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/998167/www.museumdata.ne.jp/museumdata/pdf/MD74.pdf>)」『ミュージアム・データ』第74巻、丹青研究所、2008年12月、8頁。
4. ^a “紅ミュージアム (https://manabi-mirai.mext.go.jp/search_organization/detail/000675.html)”。学校と地域でつくる学びの未来。文部科学省。2022年12月4日閲覧。
5. ^a ^b “紅ミュージアム (<https://www.isehanhonten.co.jp/museum/>)”。伊勢半本店。2022年12月4日閲覧。

外部リンク

- 伊勢半本店 紅ミュージアム公式サイト (<http://isehanhonten.co.jp/museum/index.html>)
- 港区ミュージアムネットワークサイト (<https://www.minato-rekishi.com/musenet/>)

「https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=伊勢半本店_紅ミュージアム&oldid=99390467」から取得